

北野異人館街と居留地散策案内 (Bグループ<3班>用)

2017.10.15 企画委員会

1. 実施日：11月10日（金）（高等科生体験学習受け入れ企画）

前日午前11時気象庁予報で「兵庫南」50%以上の降水確率で中止。

2. 集合場所と時間：JR三ノ宮駅中央改札南広場（元町駅方面左側）に

全員<1班・2班・3班・4班・高等科生>午前9時50分集合

3. 行動スケジュール：（高等科生5名は、Aグループにて行動）

①グループ分け：Aグループ：1班、2班（+各班高等科生）

Bグループ：3班、4班

②コースと時間：（**集合時間は厳守**。尚、Aグループは、[午前 北野町異人館街] [午後 居留地]）

[午前 居留地] 集合場所と時間：**市役所1号館1階ロビー10:20**

コース：24階展望ロビー～東公園復興コミュニティ～居留地15番館～居留地内神港ビル
～南京町周辺（11:30終了） 昼食（弁当又は南京町周辺レストラン）

弁当組：北野異人館街の北野町東公園がおすすめ（別紙地図）

※移動は、**4**南京町前からシティー・ループバス(260円)で**10**北野異人館下車
時刻表 11:41、58 12:16、33、51（乗車22分） タクシーも可

[午後 北野町異人館街] 集合場所と時間：**北野町広場 13:30 厳守**（別紙地図）

コース：風見鶏の館～萌黄の館～北野天満神社他 15:00終了

4. ガイド費用：200円/人（科負担）、但し移動の交通費は自己負担

<ガイド費用は実施4日前までに全額支払いますので、出欠連絡は確実に！>

5. 内容概略

・旧神戸外国人居留地

日米修好通商条約（1858（安政5）年1月12日）に調印された。当時下田、函館、のほかに神奈川、長崎、新潟、兵庫の開港が決められた。兵庫の開港は長崎等に10年遅れ1868年1月1日（今年開港150年目）兵庫港が開港された。人家の多い兵庫を避けて、当時寒村であった神戸付近に設けた。外国人のための住居と通商の場として外国人居留地を設けた。1899年返還されるまでは日本の司法権、警察権が及ばず、外国人による自治が行われていた地（いわゆる治外法権）であった。

・北野異人館街について（国指定重要文化財）

①風見鶏の館：ドイツ人貿易商トーマス氏の旧邸。尖塔状の風見鶏と赤レンガの外壁は北野のシンボルです。

②萌黄の館：アメリカの領事館シャープ氏の邸宅として建てられた。異なる形のベイ、ウインドーやアラベスク風の階段や重厚なマンテルピースが見所。

③北野天満神社：平清盛が1180年6月福原に遷都する邇あたり、禁裏守護、鬼門鎮後の神として京都の北野天満宮を勧請して祀ったと伝えられる。

以 上

別紙

1. 午後の集合場所 (13:30 厳守)

弁当おすすめ (北野異人館下車石段昇)



2. シティー・ループバス (4 南京町乗車 10 北野異人館下車)

JR 元町駅からタクシー可



<参考写真>

1. [午前 居留地] 神戸市役所 1 号館 24 階ロビー～東公園復興モニュメント～居留地 15 番館
市役所 24 階ロビーより (神戸港) 六甲山頂方面



震災復興モニュメント



旧居留地 15 番館



2. [午後 北野町異人館街] 北野広場～風見鶏の館～萌黄の館～北野天満神社
風見鶏の館 萌黄の館



以 上